



2026年8月7日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

15,083万kW

14時、150,834 MW (10
エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,773万kW

11時30分、47,731 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

140万kW

13時30分、1,400 MW

◇ 再エネ最大需要
比

40.3%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

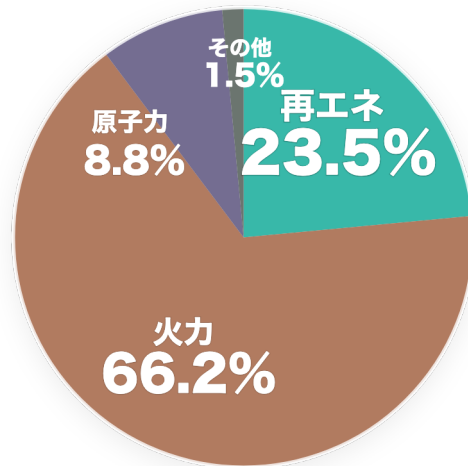
東京

139 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

109 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 46.4%

45.8 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

41.2 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

**太陽光と夕方需要の時間
差**

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、11:30に4,955万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで46.4%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	23.5%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	686 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,918 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	40.3%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	41.2 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	46.4%	45.8	0.0	送電 10.5
東北	31.6%	116	0.0	送電 109
東京	18.4%	151	0.0	受電 139
中部	28.0%	107	0.0	受電 48.0
北陸	30.6%	26.7	0.0	受電 4.0
関西	14.9%	68.2	0.0	受電 36.0
中国	25.3%	52.2	0.0	送電 3.9
四国	21.9%	29.3	0.0	送電 47.5
九州	26.2%	89.1	0.0	送電 35.4
沖縄	4.1%	1.0	0.0	—



2026年8月7日の供給実績

北海道エリア

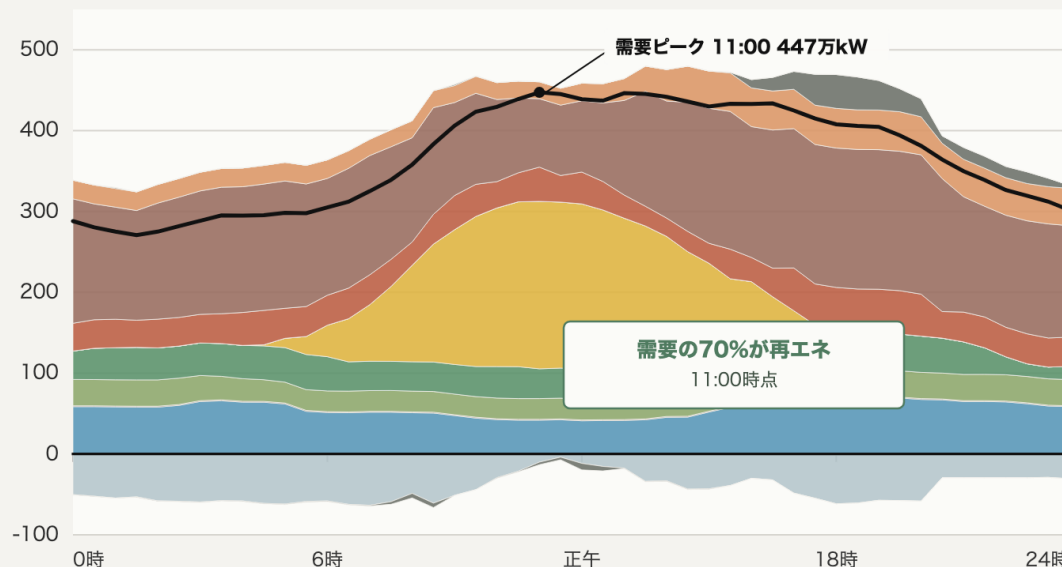
再エネ

45.8GWh

(発電電力量ベース46.4%)

北海道エリア 2026年8月7日の供給実績（残余需要方式）

万kW



発電構成比

総発電電力量: 99GWh
(986万kW)

再エネ	45.8GWh (46.4%)
太陽光	15.6GWh (15.8%)
水力	13.9GWh (14.1%)
風力	9.1GWh (9.2%)
バイオマス	6.9GWh (7.0%)
地熱	0.3GWh (0.3%)
LNG火力	9.0GWh (9.1%)
石炭火力	34.3GWh (34.8%)
石油等火力	7.9GWh (8.0%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.7GWh (1.7%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

98.6GWh

需要ピーク

11:00、447万kW

連系線・その他

10.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク207万kW、風力ピーク46万kWで、時間別の再エネ最大需要比は71.0%だった。



2026年8月7日の供給実績

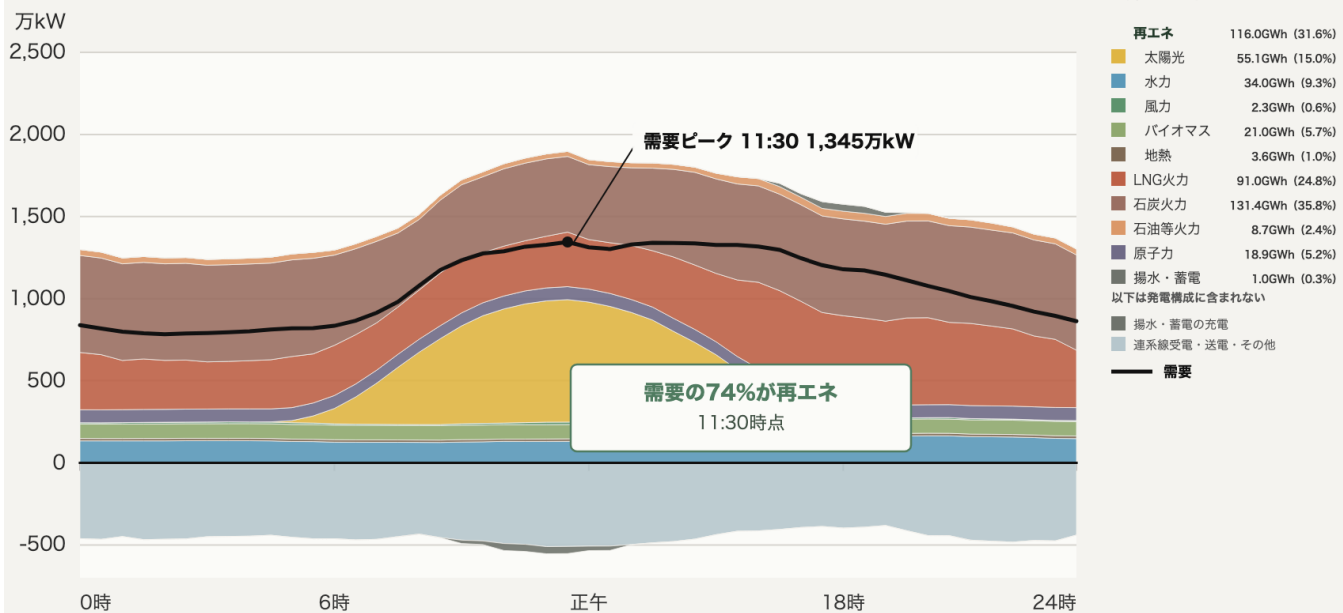
東北エリア

再エネ

116.0GWh

(発電電力量ベース31.6%)

東北エリア 2026年8月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

367.1GWh

需要ピーク

11:30、1,345万kW

連系線・その他

109.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク746万kW、風力ピーク18万kWで、時間別の再エネ最大需要比は74.6%だった。



2026年8月7日の供給実績

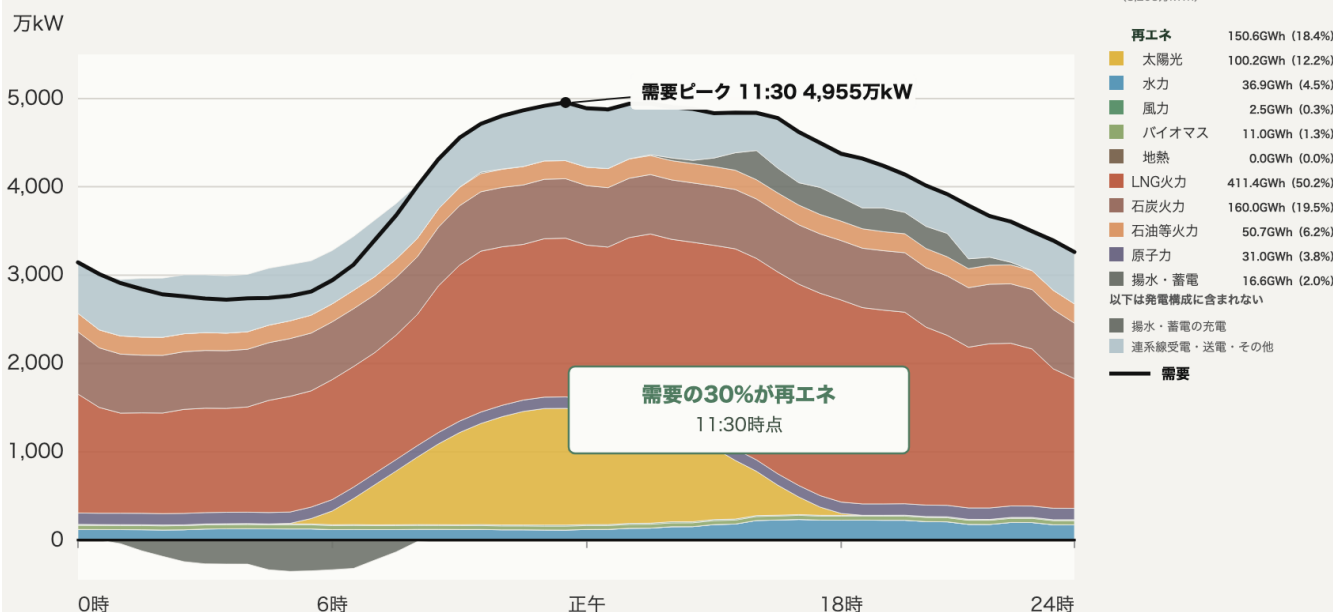
東京エリア

再エネ

150.6GWh

(発電電力量ベース18.4%)

東京エリア 2026年8月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

820.3GWh

需要ピーク

11:30、4,955万kW

連系線・その他

138.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電

17.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,322万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は30.3%だった。



2026年8月7日の供給実績

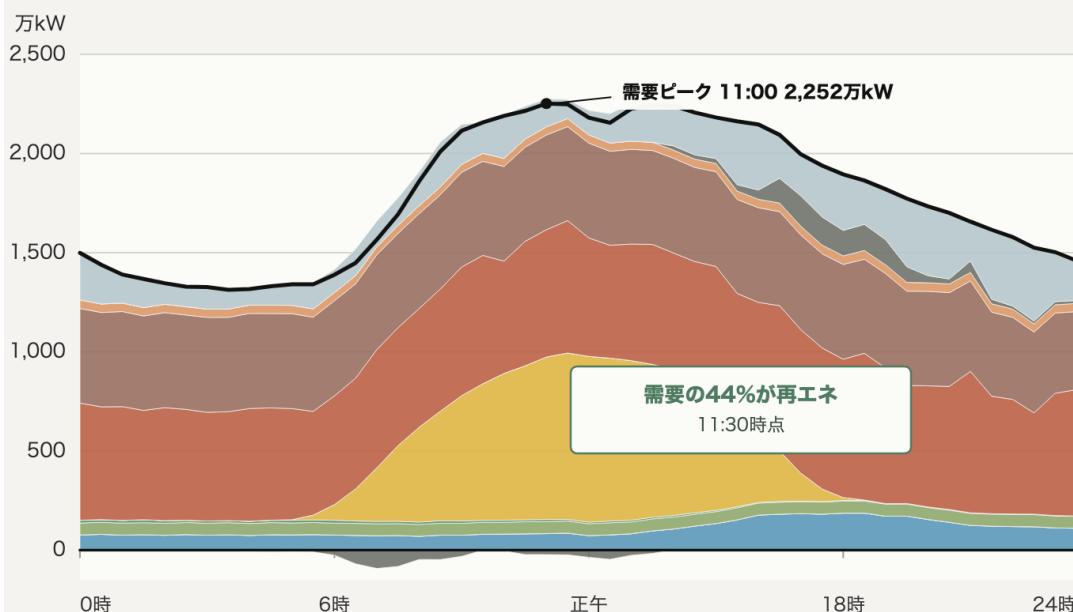
中部エリア

再エネ

107.0GWh

(発電電力量ベース28.0%)

中部エリア 2026年8月7日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 382.0GWh
(3,820万kWh)

再エネ	107.0GWh (28.0%)
太陽光	64.9GWh (17.0%)
水力	25.6GWh (6.7%)
風力	2.0GWh (0.5%)
バイオマス	14.5GWh (3.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	146.2GWh (38.3%)
石炭火力	112.5GWh (29.5%)
石油等火力	10.1GWh (2.6%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	6.2GWh (1.6%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

382.0GWh

需要ピーク

11:00、2,252万kW

連系線・その他

48.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

3.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク839万kW、風力ピーク15万kWで、時間別の再エネ最大需要比は44.9%だった。



2026年8月7日の供給実績

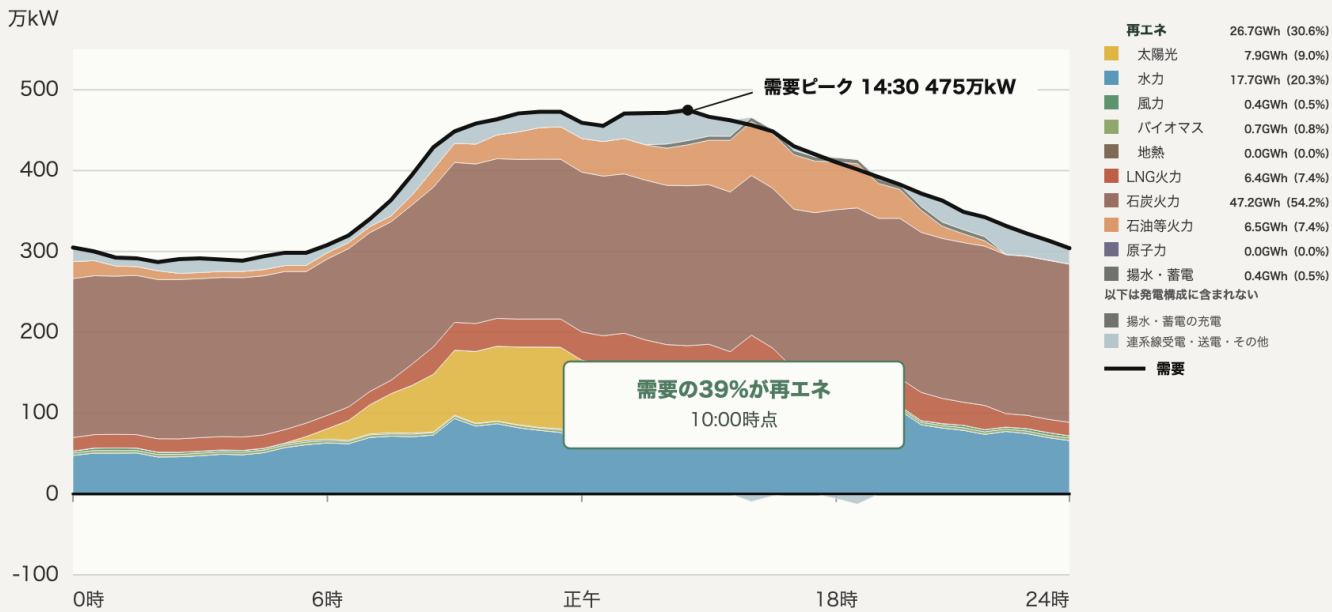
北陸エリア

再エネ

26.7GWh

(発電電力量ベース30.6%)

北陸エリア 2026年8月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

87.2GWh

需要ピーク

14:30、475万kW

連系線・その他

4.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク101万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は39.7%だった。



2026年8月7日の供給実績

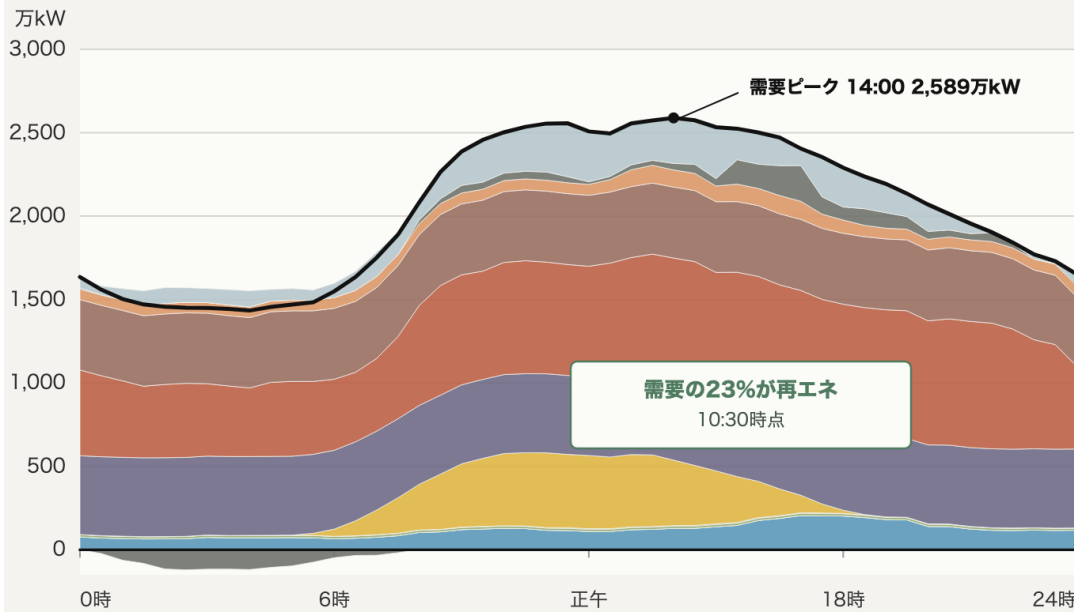
関西エリア

再エネ

68.2GWh

(発電電力量ベース14.9%)

関西エリア 2026年8月7日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 459GWh
(4,591万kWh)

再エネ	68.2GWh (14.9%)
太陽光	36.5GWh (7.9%)
水力	28.1GWh (6.1%)
風力	0.6GWh (0.1%)
バイオマス	3.1GWh (0.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	148.6GWh (32.4%)
石炭火力	101.7GWh (22.2%)
石油等火力	17.5GWh (3.8%)
原子力	113.5GWh (24.7%)
揚水・蓄電	9.5GWh (2.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

459.1GWh

需要ピーク

14:00、2,589万kW

連系線・その他

36.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

5.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク449万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.1%だった。



2026年8月7日の供給実績

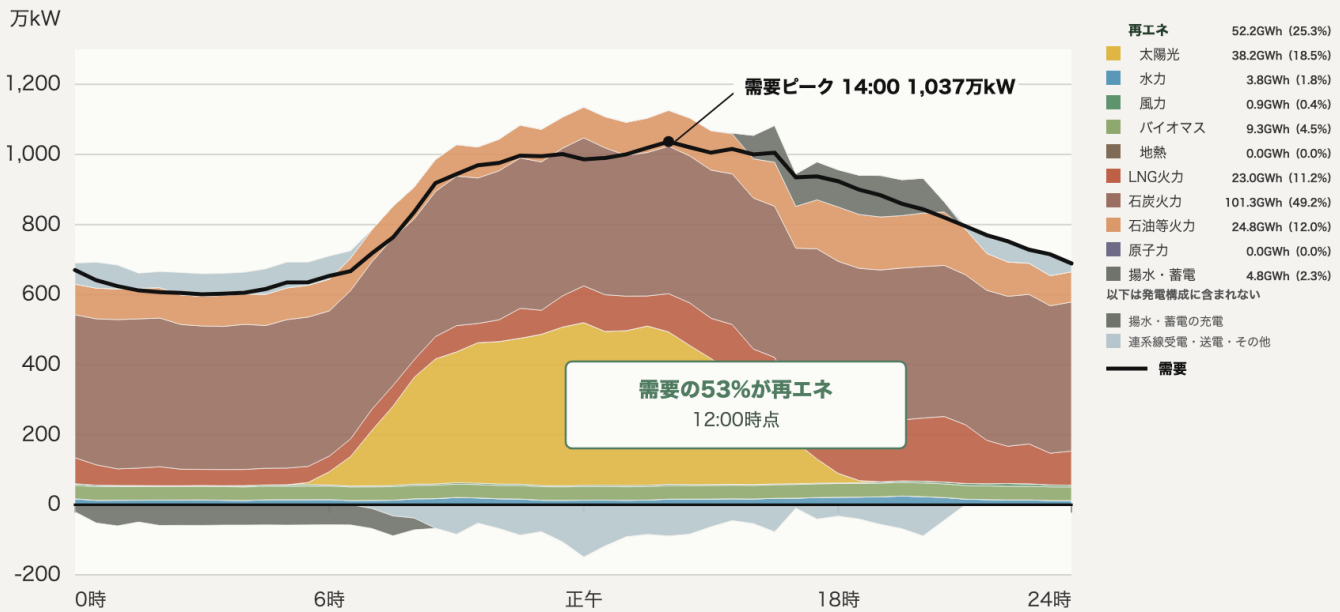
中国エリア

再エネ

52.2GWh

(発電電力量ベース25.3%)

中国エリア 2026年8月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

206.0GWh

需要ピーク

14:00、1,037万kW

連系線・その他

9.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

4.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク465万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.7%だった。



2026年8月7日の供給実績

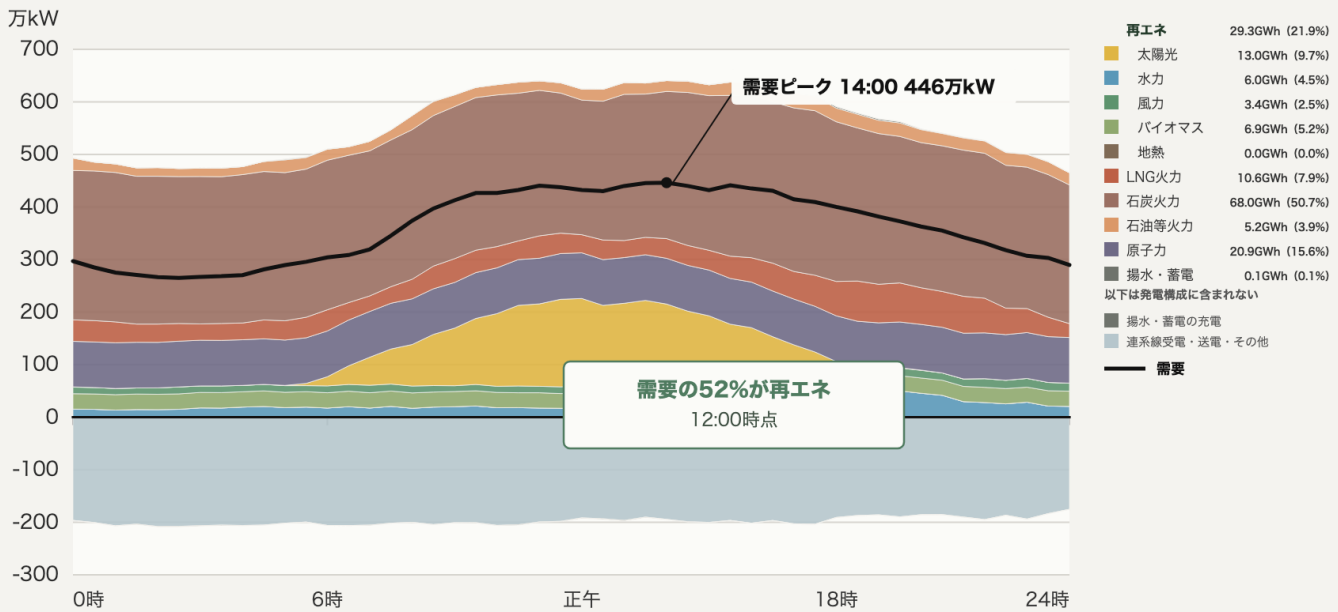
四国エリア

再エネ

29.3GWh

(発電電力量ベース21.9%)

四国エリア 2026年8月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

134.1GWh

需要ピーク

14:00、446万kW

連系線・その他

47.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク167万kW、風力ピーク18万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.2%だった。



2026年8月7日の供給実績

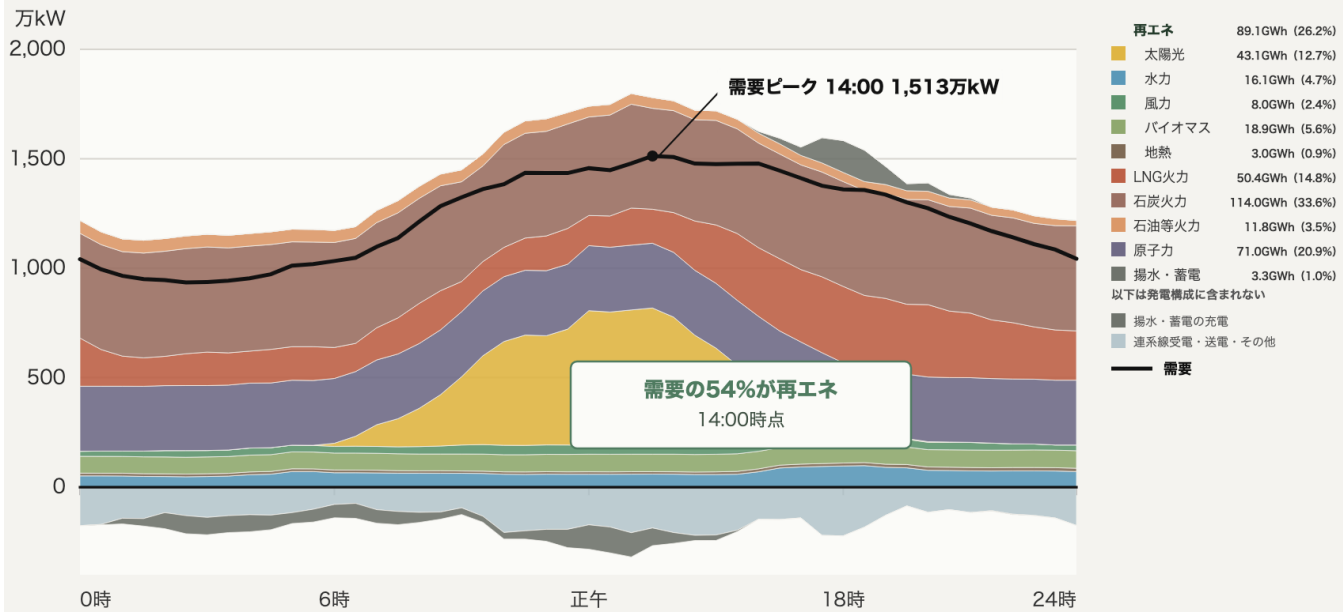
九州エリア

再エネ

89.1GWh

(発電電力量ベース26.2%)

九州エリア 2026年8月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

339.5GWh

需要ピーク

14:00、1,513万kW

連系線・その他

35.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

8.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク636万kW、風力ピーク43万kWで、時間別の再エネ最大需要比は55.4%だった。



2026年8月7日の供給実績

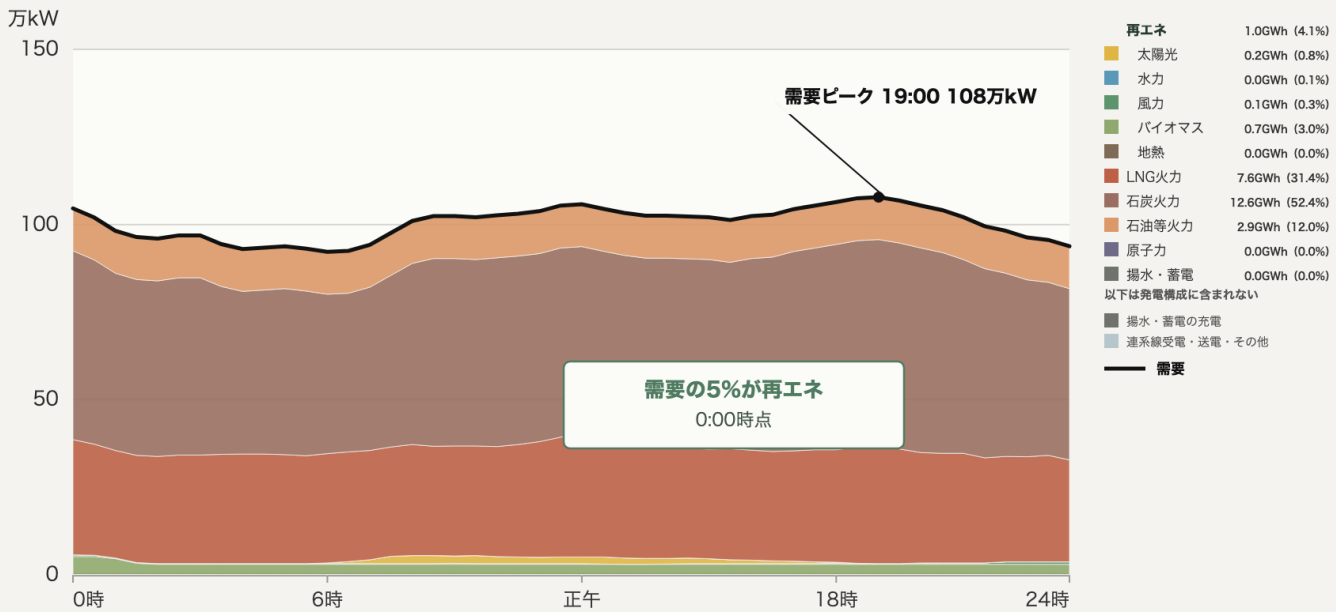
沖縄エリア

再エネ

1.0GWh

(発電電力量ベース4.1%)

沖縄エリア 2026年8月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

24.1GWh

需要ピーク

19:00、108万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク2万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は5.5%だった。